

ご注意! ソウシハギ

ソウシハギ【カワハギ科】

最近テレビや新聞でこの名前を目にされた方も多いと思います。また各沿岸部の自治体等でチラシを掲示して注意を呼びかけるなど、一躍有名になった魚です。「フグ毒の70倍の毒を持つ魚」というありがたくないキャッチフレーズをいただいたソウシハギとは、どんな魚なのでしょう。

体表面にある無数の黒斑紋と青色線が表すように熱帯系の魚で、本来は沖縄や小笠原諸島などが生息地域ですが、台風や黒潮に乗って相模湾に流れ込んでくることもあり、秋谷漁港内でも見かけることがあります。

幼魚は内湾や浅い岩礁域に生息しますが、成魚になると沖合いの根周辺に単独でいることが多く、カワハギ釣りなどの外道で釣れる場合があります。もともと毒を持っている訳でなく、サンゴ礁で生活している時に食べるイソナギンチャクなどに含まれている毒、パリトキシンを内臓に溜めることが原因とされています。パリトキシンは猛毒で、フグ毒テトロドトキシンの数十倍とも言われています。加熱しても毒性は消えません。

近年の温暖化のせいか北海道でも漁獲されたそうで、今後も増加傾向にあるようです。食例もあり、「美味かった」という意見もありますが、食中毒による死亡例もありますので、むやみに食べないようにしましょう。



ソウシハギの幼魚

今月のおすすめ釣魚

12月休日の潮回り

2日(日)	7:18満潮(174)	12:44干潮(104)中
9日(日)	6:43干潮(95)	12:40満潮(165)若
16日(日)	7:30満潮(182)	12:50干潮(99)中
23日(日)	6:30干潮(113)	12:30満潮(155)若
24日(月)	7:53干潮(115)	13:34満潮(157)中

こんな魚が釣れてます



一番手堅いのはカワハギ、肝もバッチリ。マダイは1~2kgのベストサイズが釣れます。アマダイ・カサゴ・ヒラメのシーズン到来です。

安全航行しましょう!!

- 始業点検(ガソリン・主機・補機・船体・アンカー)
- 常備品(人数分ライフジャケット・信号紅炎・携帯電話・救命浮環・オール・ラジオ)
- 湾内徐行・漁網避難航行・天候注意・水上バイク注意・釣糸注意

今月のギャラリー



どこが目かわかりますか?(ミナミハコフグ)



新しくなったボートキャリア

海の生物ワンポイント

ミナミハコフグ【ハコフグ科】

成魚は沖縄など南の海に生息しますが、秋から冬にかけて相模湾でも幼魚を見ることが出来ます。浅い岩礁域のくぼみなどに潜んでおり、体長はわずか2~3cm、泳ぐ姿がとても可愛い魚です。

トピックス

船舶保管施設のボートキャリアが新しくなりました。以前は経年劣化から故障が続き、皆様にご迷惑をお掛けしましたが、これからは安心して運行が出来ますのでよろしくお願い申し上げます。12月は朝方に北風が強くても日中は穏やかな日が多いですね。まだまだオンシーズン、釣物も豊富ですのでぜひご来場下さい。

補機も使用しましょう

思わぬエンジントラブル...そんな時、補機があれば安心?でも、エンジンがかかりますか? 普段使用しない補機は肝心な時に役に立たない場合があります。原因はキャブレター内のガソリンの劣化による固着が多いです。使用後にガソリンを抜くことである程度は防げますが、一度固着したら分解清掃しなければなりません。自身でメンテナンスされても良いですが、業者さんに依頼する方が良いでしょう。出船中の短い移動を補機で行うと、トラブル防止に繋がります。一番安心なのは補機にかかる費用をBAN会費に回すことも知れません。

指定管理者からのお知らせ

帰港後の忘れ物に注意しましょう

日暮れがずいぶん早くなりました。帰港後、あわただしく洗艇や後片付けを行っているとすぐ暗くなってきます。ここで気をつけたいのが忘れ物です。魚探や携帯電話、ポーチなど置き忘れしやすいものは、あらかじめお車に入れておきましょう。バッテリースイッチ、エンジンキー、燃料コックOFFも忘れやすいので注意しましょう。余裕を持ってお帰りされるには、遅くとも午後3時頃までに帰港されると良いでしょう。

お問合せは ☎ 0120-560982 (コールアキヤに)

今月の事故

接触等	0	件
主エンジン停止	0	件
ガス欠	0	件